

発行所 有明新報社

本社
〒836-8512 大牟田市有明町1-1-17
TEL(0944)52-1212(代)
FAX52-1215(編集・制作) 85-7080(営業販売)
51-9332(広告・クラブ) 57-5144(総務)

柳川地方総局
〒832-0077 柳川市筑紫町407-6
TEL(0944)73-5037(代) FAX73-5047

郵便振替 01730-1-19354
http://www.ariake-news.co.jp

きよようの紙面

安全で快適な地域へ大会宣言 2面
日フィル公演きようプレコン 3面
混声合唱で観客600人を魅了 5面
元ホークス選手が打撃を指導 6面
県境のにぎわいと交流の場 7面



食品廃棄削減ロスおよび
販路拡大事業説明会が18
日、玉名郡長洲町中央公民
館であった。同町や荒尾
市、南関町など熊本県北地
域の自治体が生産者とも連
携し、地域活性化を図ろう
と思いを一つにした。
県北8市町と熊本県の商
工、農林水産行政担当者や



事例などを説明する関藤社長

食品ロス減と販路拡大を

長洲で
説明会
県北自治体へアピール

B&G財団、株式会社クラ
ダシ(本社・東京)などか
ら20人ほどが出席。
クラダシは品質に問題が
なくても規格外、季節商
品、賞味期限間近などの理
由で販売されず廃棄になる
食品を減らすのを目的にシ
ョッピングサイトを運営。
購入代金の一部をB&G財
団が行う青少年健全育成、
子どもたちの体験活動事業
に寄付している。
説明会は各自治体が地元
産品の販路を広げ、社会貢
献の輪も大きくしようとし
長洲町、クラダシ、B&G財
団が主催した。
B&G財団の岩井正人総
務部次長が事業、クラダシ
の関藤竜也社長がサイトの
概要や販売事例を説明し、
質疑応答が行われた。
数量が少ない場合の対応
を聞かれ、関藤社長は「複

大牟田市エコサソクセン
ターが主催する「エコタウ
ンフェア2019」が17

楽しく学び環境考える
フリマや仕事体験教室など多彩
エコタウンフェアにぎわう

大牟田

数の作物をセットにするの
も可能」と回答するなど、
さまざまな質問に答えた。
最後に生産者にも周知を
進めて新たな所得にもつな
げようと確認した。
(高本 明)



日、同施設で開催された。
30店舗によるフリーマーケ
ットや子ども向けの「お仕
事体験教室」、楽しみながら
学べる環境学習、浄化槽展
示など多彩なイベントがあ
り、子どもから大人まで多
くの人でにぎわった。
環境問題の学習や交流拠
点の施設を活用し、楽しく
エコを学んで、みんながで
きるエコを考える機会。フ
リーマーケットをはじめ発
電車試乗な
ーが開され
の販売もあつ
バンドイ出
仕事体験教室
ちが参加。工
もちやのエコ
農業や事務、
ウンサーなど
事に触れ、将
に思いを寄せ
スタンプラ